

～今月の概要～

■■ INDEX ■■

特集①)

新型コロナウイルス感染拡大の影響 VOL.1

P.1～17

- 【1】 新型コロナウイルス感染拡大に関する出来事①～④
- 【2】 コロナ禍の現状①～⑤
- 【3】 “リーマンショック”“東日本大震災”前後マーケットの振り返り
- 【4】 今後のマーケットの視点：各種記事より 等

特集②)

首都圏版：お客様意識調査（2020年4月調査）

P.1～12

- 【1】 定点項目①～⑥ 「景気動向」「金利動向」「マンション価格動向」
「住宅の買い時感」「住宅の検討状況」
／属性別：年代・本人年収別の傾向
- 【2】 2020年の所得の見通し ／ 属性別：年代・本人年収別の傾向

～次号(2020年5月)の予定～

◆特集レポート

新型コロナウイルス感染拡大の影響 VOL.2

～暮らし・働き方の変化から、今後の『住まいニーズ・商品』を考える～

■■ 2020年4月：特集レポートダイジェスト ■■

特集①) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 VOL.1

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界及び日本を取り巻く環境が一変。

首都圏新築マンション市場においては、4/7の緊急事態宣言発令後、モデルルーム営業の休止が主流となる等、先行きは不透明な状況となっている。

本レポートでは、今後の市場を考えるにあたり、「新型コロナウイルス感染拡大の経緯」や「リーマンショック」「東日本大震災」前後の新築マンション市場などについて整理しました。

特集②) 首都圏版：お客様意識調査（2020年4月調査）

2020年4月のお客様意識調査は、「4/16：緊急事態宣言の対象が全国に拡大」「4/17：東京都一日の感染者数が初の200人超」等、新型コロナウイルスの感染拡大が進行、またその影響が日々変化する中で調査を実施。

景気動向・マンション価格動向・住宅の買い時感など、各指標DIは前回調査より大幅に低下し、調査時(コロナ禍)の購入マインドの水準を、確認する事ができた。

本レポートでは、各指標及び収入の見通しについて、“年代・本人年収別の違い”を分析しました。